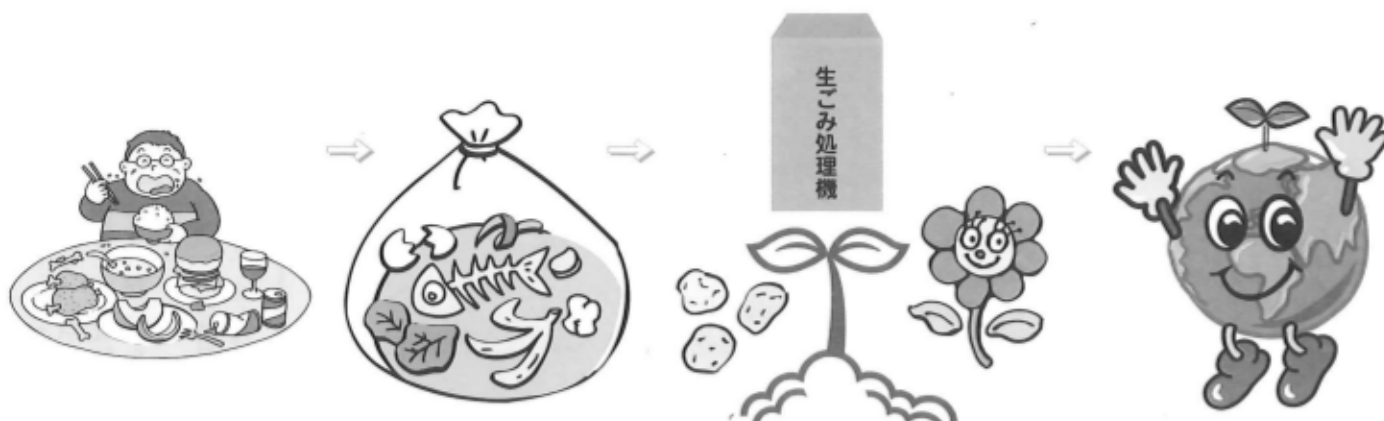


生ごみ減量化への取り組み

環境にやさしく家庭でできる生ごみリサイクル



食事などによる生ごみ。家庭で出した生ごみは自分達で処理しよう！

生ごみ処理機による堆肥や土壌改良へのリサイクル！

地球環境にやさしい緑のある暮らしを！

都留市では平成11年4月より生ごみの自家処理を促進し、ごみ処理の減量化と生ごみの土壌化による資源の再利用をはかることを目的として家庭用生ごみ処理機の補助制度をスタートしました。平成11年度は151台が設置され、利用している方々から多くのご意見が寄せられましたので一部を紹介します。

平成11年度生ごみ処理機の地区別購入数

生ごみ処理後の堆肥の利用場所

畑、花壇、庭

上谷 21	中谷 10	下谷 7	三吉 9	開地 17
東桂 25	宝 19	禾生 38	盛里 5	合計151台

生ごみ処理機151台による生ごみの減量は？

1世帯当たり4人家族を想定しますと

1日に700グラムの生ごみ×151台×365日

年間で約39トンの生ごみが優良な堆肥としてリサイクルされます。

ごみ処理機の特徴

乾燥式

生ごみ処理機内で粉碎し、ヒーターで短時間に強制乾燥させる方式。

長所 室内で使える。

機械がコンパクトである。

短所 生ごみの種類によっては乾燥に時間がかかる。(電気代がかかる)
処理能力が少ない。

バイオ式

微生物が含有されている媒体材と、生ごみを処理機内で攪拌するなどして発酵及び分解処理する方式。

長所 処理能力が優れている。

堆肥が扱いやすい。

短所 機械がコンパクトでない。

室内に置けない。

使用方法によっては臭いが出る。